

2022年11月25日

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

旧セルジーン株式会社によるレブメイト情報の取扱いに関する過去の声明について

2019年初旬に、旧セルジーン社の日本法人であった旧セルジーン株式会社(CKK)が、レブメイト適正管理手順を通じて得た患者情報を営業目的に不適切使用した、との報道がありました。レブメイトは、多発性骨髄腫の治療薬であるレブラミドおよびポマリストを適正に使用いただくために定められた手順です。

旧セルジーン社の買収を完了後、ブリistol マイヤーズ スクイブ(BMS)は、レブメイト適正管理手順を通じて得た患者情報が2019年8月までCKKの営業活動に使用されていたことを確認しました。また、BMSは、その使用行為がすでに取りやめられたことも確認しました。このような情報の不適切な使用は、CKKが2021年にBMSに合併される前のことではありますが、BMSは、社会的責任を全うする企業として、本件を真摯に受け止め、情報の営業目的の使用はなかったとしたCKKによる過去の声明を訂正するとともに、このような情報使用および声明が皆さまにご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。なお、BMSは、社会的責任を果たすべく、本件について厚生労働省に速やかに報告し、また、本日CKKによる過去の声明を訂正することとしました。

BMSは、その業務のすべてにおいて、クオリティ、インテグリティ、コンプライアンス、倫理のあくなき追求を重視しています。レブメイトは、2010年の開始以来、レブラミドおよびポマリストが胎児に重大な障害を及ぼす可能性を回避するための重要な役割を果たしてきました。BMSは、これからも、関連する日本のすべての法規制を遵守し、レブメイト内の情報を患者の安全のみに使用して、レブメイトの運営を継続します。